

事業計画書様式2-1

2025年度 踊場地区センター 指定管理者事業計画書			
団体名	公益財団法人 横浜YMC A		
代表者名	工藤 誠一	担当者	関口 努
団体所在地	横浜市中区常盤町一丁目七番地		
電話番号	045-662-3721	FAX番号	045-651-0169

事業計画書様式2-2

<p>1 2025年度の管理運営に関する基本方針について</p> <p>ア 設置目的、区政運営上の位置付け</p> <p>イ 地域特性、地域ニーズ</p> <p>ウ 公の施設としての管理</p>																	
<p>ア 設置目的、区政運営上の位置付け</p> <p>戸塚区運営方針、横浜市地区センターの設置目的などを踏まえ、地区センターの機能を、地域の課題に向き合いながら、地域住民の新たな出会い・つながり・発見・成長につなげていくことと理解し、踊場地区センターを下記の通りに管理・運営してまいります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. より気軽に地区センターを訪れるきっかけをつくります。 幅広い年代を対象とした自主事業、無料・申込み不要で参加できる催しやイベントの実施 2. 個人がグループとつながるきっかけをつくります。 利用者との挨拶+αの関係づくり、個人利用や自主事業での参加者同士をつなぐ職員の関わり 3. 新しい仲間とともに、新しい体験ができるきっかけをつくります。 地区センター、近隣拠点でのボランティア機会、交流試合や発表会など利用者同士の交流機会の提供 4. 地区センターが自己実現の場となるよう支援していきます。 新たなサークル、地域活動の創出・立ち上げ、利用者による自主事業やイベントの企画・実施など 																	
<p>イ 地域特性、地域ニーズ</p> <p>地域特性を反映する基本的な運営テーマ 「100歳を超えて生き続ける街、踊場」</p>																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>地域特性</th><th>地域ニーズ</th><th>具体的な取組計画</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>踊場地区は高齢者の比率が戸塚区平均より2~3歳高く、坂道が多く景観が優れている一方で、高齢者等の歩行には厳しい箇所などが見受けられます。 (踊場・北沢地区ハートプラン 第4期の目標)</td><td>高齢者のための介護予防や健康づくり、誰もが安心して歩くことのできるような「交通安全」や、坂道でも歩きやすいなど「福祉」の視点にもとづいた地域環境づくり</td><td>踊場健康100歳計画 ストレッチ、水泳体験、ウォーキング、認知症・介護予防体操など日常的な運動機会の提供による健康まちづくり</td></tr> <tr> <td>小・中・高校などの教育施設の他、保育園、幼稚園、病児保育室、学童保育所などがあり、利便性の高い住宅地となっています。 (踊場地区まちづくりプラン 地区の特性)</td><td>子育てサロンや育児支援などのサポートによる安心して子育てできる環境づくりのほか、親同士が気軽に交流できる場づくり</td><td>子育て世代躍動計画 地区センター独自の子育てサロンや身長体重測定会、赤ちゃん運動会、保育園・こども園の選び方講座などの実施</td></tr> <tr> <td>踊場駅周辺は高密度な住宅地となっており、大規模災害時には地震火災などの被害が生じる恐れがあります。 (踊場地区まちづくりプラン 災害に強いまちづくり)</td><td>誰もが安心して暮らせるような地域全体で助け合い、防災・防犯に取組んでいく安心・安全なまちづくり</td><td>自助・共助・公助、つながり自慢踊場計画 各地域防災拠点や地域諸団体との日常的な防災協力体制構築や訓練による災害時の備え</td></tr> <tr> <td>地域の課題を全員で解決していく風土があり、ほとんどの世帯が連合町内会に所属するなど、住民同士の結束力が高い地域となっています。 (踊場・北沢地区ハートプラン第4期の目標)</td><td>高齢者の孤立防止などによるふれあい・支え合いのコミュニティづくり、子ども~高齢者まですべての世代における居場所づくり</td><td>あらゆる世代の居場所づくり計画 元気な高齢者の活躍の場の提供、課題を抱える子どもたち・若者へのゆるやかな居場所の提供</td></tr> </tbody> </table>			地域特性	地域ニーズ	具体的な取組計画	踊場地区は高齢者の比率が戸塚区平均より2~3歳高く、坂道が多く景観が優れている一方で、高齢者等の歩行には厳しい箇所などが見受けられます。 (踊場・北沢地区ハートプラン 第4期の目標)	高齢者のための介護予防や健康づくり、誰もが安心して歩くことのできるような「交通安全」や、坂道でも歩きやすいなど「福祉」の視点にもとづいた地域環境づくり	踊場健康100歳計画 ストレッチ、水泳体験、ウォーキング、認知症・介護予防体操など日常的な運動機会の提供による健康まちづくり	小・中・高校などの教育施設の他、保育園、幼稚園、病児保育室、学童保育所などがあり、利便性の高い住宅地となっています。 (踊場地区まちづくりプラン 地区の特性)	子育てサロンや育児支援などのサポートによる安心して子育てできる環境づくりのほか、親同士が気軽に交流できる場づくり	子育て世代躍動計画 地区センター独自の子育てサロンや身長体重測定会、赤ちゃん運動会、保育園・こども園の選び方講座などの実施	踊場駅周辺は高密度な住宅地となっており、大規模災害時には地震火災などの被害が生じる恐れがあります。 (踊場地区まちづくりプラン 災害に強いまちづくり)	誰もが安心して暮らせるような地域全体で助け合い、防災・防犯に取組んでいく安心・安全なまちづくり	自助・共助・公助、つながり自慢踊場計画 各地域防災拠点や地域諸団体との日常的な防災協力体制構築や訓練による災害時の備え	地域の課題を全員で解決していく風土があり、ほとんどの世帯が連合町内会に所属するなど、住民同士の結束力が高い地域となっています。 (踊場・北沢地区ハートプラン第4期の目標)	高齢者の孤立防止などによるふれあい・支え合いのコミュニティづくり、子ども~高齢者まですべての世代における居場所づくり	あらゆる世代の居場所づくり計画 元気な高齢者の活躍の場の提供、課題を抱える子どもたち・若者へのゆるやかな居場所の提供
地域特性	地域ニーズ	具体的な取組計画															
踊場地区は高齢者の比率が戸塚区平均より2~3歳高く、坂道が多く景観が優れている一方で、高齢者等の歩行には厳しい箇所などが見受けられます。 (踊場・北沢地区ハートプラン 第4期の目標)	高齢者のための介護予防や健康づくり、誰もが安心して歩くことのできるような「交通安全」や、坂道でも歩きやすいなど「福祉」の視点にもとづいた地域環境づくり	踊場健康100歳計画 ストレッチ、水泳体験、ウォーキング、認知症・介護予防体操など日常的な運動機会の提供による健康まちづくり															
小・中・高校などの教育施設の他、保育園、幼稚園、病児保育室、学童保育所などがあり、利便性の高い住宅地となっています。 (踊場地区まちづくりプラン 地区の特性)	子育てサロンや育児支援などのサポートによる安心して子育てできる環境づくりのほか、親同士が気軽に交流できる場づくり	子育て世代躍動計画 地区センター独自の子育てサロンや身長体重測定会、赤ちゃん運動会、保育園・こども園の選び方講座などの実施															
踊場駅周辺は高密度な住宅地となっており、大規模災害時には地震火災などの被害が生じる恐れがあります。 (踊場地区まちづくりプラン 災害に強いまちづくり)	誰もが安心して暮らせるような地域全体で助け合い、防災・防犯に取組んでいく安心・安全なまちづくり	自助・共助・公助、つながり自慢踊場計画 各地域防災拠点や地域諸団体との日常的な防災協力体制構築や訓練による災害時の備え															
地域の課題を全員で解決していく風土があり、ほとんどの世帯が連合町内会に所属するなど、住民同士の結束力が高い地域となっています。 (踊場・北沢地区ハートプラン第4期の目標)	高齢者の孤立防止などによるふれあい・支え合いのコミュニティづくり、子ども~高齢者まですべての世代における居場所づくり	あらゆる世代の居場所づくり計画 元気な高齢者の活躍の場の提供、課題を抱える子どもたち・若者へのゆるやかな居場所の提供															
<p>ウ 公の施設としての管理</p> <p>公平性を重視し、利用者の目線に立ち、横浜市が取組む未来都市の視点に立った施設運営をしていきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①子どもから高齢者、障がいのある方など誰もが公平に安心して利用できる施設運営をしていきます。 ②「障害者差別解消法」に基づき、ホームページなどのWEB媒体で、ユニバーサルデザインフォントの利用や読み上げ機能を使用するなど、合理的配慮の提供をしていきます。 ③個人情報の保護、人権に関する法令や条例を遵守し、職員に周知徹底を図ります。 																	

(様式2)

- ④利用者の理解を得ながら、環境に十分配慮した施設運営をしていきます。（ゴミ・省エネ・節電など）
- ⑤災害時など、区と連携しながら一時滞在施設又は避難所として施設を開放します。
- ⑥地域行事等で要請がある場合、および利用者への新たなサービスとして必要と判断される場合には、戸塚区と協議の上、時間外でも施設を開放いたします。

2 2025年度の施設の運営業務について

- (ア) 利用者へのサービスの提供
- (イ) 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方
- (ウ) 利用者会議の開催の考え方

(ア) 利用者へのサービスの提供

踊場地区センターの施設特性、立地条件、利用者の声などを考慮しながら、指定管理期間5年間で計画的に以下の取組をしていきます。(新たな取組を新規として記載)

1. 横浜市こども青少年局と連携したこどもが楽しめる体験プログラム付き一時預かり事業の実施(新規)

横浜市が取り組む「預けやすいまちヨコハマの推進」に合わせて、こどもが楽しめる体験プログラム付き一時預かり事業(体操・リトミック・ダンス・英語遊び等)を実施します。

2. 送迎バスを活用した水泳教室・水中運動プログラムの提供(継続)

横浜YMC Aの事業活動のスキルを活かして、踊場地区近隣のプール施設を保有する

YMC A山手台センターにて、地域に住む高齢者に向けた水中運動プログラムを自主事業として実施します。地区センターとプール施設間の移動については、送迎バスにて対応していきます。

3. 施設利用料金の支払期限への柔軟な対応(新規)

施設の利用料金の支払期限について、利用予定日の一週間前までを入金期限とし、支払期限を緩和することで、入金のためだけに来館する機会を減らします。気候変動を考慮し、夏季における猛暑の際の支払い期限について、特に高齢者に対しては支払い期限の延長などの特別措置を講じます。

4. 就労支援施設等と連携したパン販売による飲食機会の提供(継続・拡大)

パンやコーヒー、焼き菓子などの販売を近隣にある就労支援施設等と連携して行います。(行政財産目的外使用の申請)

- ・13:30～18:00の時間帯で実施
- ・不定期でコーヒーの提供も1杯100円程度で実施し、収益は募金とさせていただきます。

(イ) 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方

踊場地区センターでは、地域との関係づくりや利用者の方々との積極的な関わりを通して、地区センターに関するご意見やご要望を収集し、運営に反映させていきます。

1. 運営委員会 地域の自治会、諸団体などで構成される運営委員からの意見の把握

2. 利用者会議 施設利用について、会議形式で利用者の方と協議の機会を持ちます。

3. 利用者アンケート 多岐にわたり利用者からの生の声をアンケートで把握します。

4. ご意見箱 利用者からの意見を吸い上げ、意見に対する返答を館内に掲示します。

5. 自主事業、イベント後のアンケート実施

プログラムに関する意見やニーズを把握し、今後の企画・運営に反映していきます。

6. 利用者とのあいさつ+コミュニケーション

ロビーや受付カウンターでの関係づくりの会話の中から、意見や要望、ニーズを把握していきます。

上記の方法によりいただいた利用者の方々からのご意見、ご要望等については、毎月行われるスタッフミーティングにおいて、情報共有・協議を行い、改善に向けて取り組んでいきます。お寄せいただいた声を受け止め、より丁寧にお応えしていくことは指定管理者の責務です。改善可能な声に対しては改善に取り組む一方で、施設の特性上難しいご要望であれば、誠実に施設の特性をお伝えし、ご理解を求めるべきと考えます。マンパワーを活用した工夫により、利用者の声に寄り添い、どうしたらご要望に近い対応ができるかをYMC Aは大切にします。

(ウ) 利用者会議の開催の考え方

・2025年度は、今後の施設の運営方針や計画・施設利用についての改善点などについてのご意見・自主事業やイベントへのご要望など、広く利用者や利用団体からの声を聞く機会として、利用者会議を開催いたします。

・また年度内に利用者アンケートを行い、今後の施設運営に反映させていきます。

利用者アンケートについては、書面だけでなく広くオンラインなどでも回答できるようにしていきたいと考えています。

事業計画書様式2-4

3 2025年度の施設の経営について

- (ア) 利用者数の目標、利用料金収入の計画
- (イ) その他事業収入等（自動販売機、印刷機等）の計画
- (ウ) 管理経費の節減計画

(ア) 利用者数の目標、利用料金収入の計画

- ・施設活性化のための取組みを通して、安定的な収入基盤を強化し、コロナ前の利用状況や収入状況に戻していくことに努めています。
- ・施設利用に関するニーズの多様化に対して、可能な限り柔軟に対応していきます。
- ・新たな利用者、利用団体の確保、招致となる取組みを継続して行うことにより、利用 料金収入増につなげていきます。

①利用者の利便性を考えた施設運営

- ・多様化する利用者ニーズに対応すべく、部屋の特性にこだわらない利用方法の提案
- ②自主事業からのサークル化支援による新たな利用団体の創出
 - ・自主事業からサークル化した団体は半年間の優先利用予約を認める。
- ③継続して地区センターに来館していただくための仕組みづくり
 - ・自主事業の企画の視点として、5~10回にわたる継続的な講座の積極的な展開による自主事業収入の増加
- ・利用者数の目標は、コロナ前の利用状況に近づけていくことを目標に、初年度として年間約150,000人に設定し、目指していきます。
- ・利用料金収入については、375万円とします。

(イ) その他事業収入等（自動販売機、印刷機等）の計画

- ・自動販売機・コピー機、印刷機を利用者へのサービスとして設置します。

(ウ) 管理経費の節減計画

- ・施設運営上、削れる費用と削ることのできない費用をしっかりと判断していきます。
- ・利用者サービス向上や施設の安全面に関する場合には、経費をかけていきます。
- ・月毎の予算執行計画に基づいて、適切な支出管理をしていきます。
- ・利用者に理解、協力を求めながら、光熱水費の削減に努めています。

1. 人件費

効率的な勤務シフトの作成、安全・サービス提供に重点を置いた体制

2. 消耗品費

より安価な価格で購入できる業者を比較・検討、寄贈品の活用による削減

3. 備品購入費

他施設での不使用備品の再活用、組織での一括発注による経費の削減

4. 印刷製本費

裏紙再利用、ペーパーレス化、Nアップ印刷の推進

5. 自主事業費

企画段階での講師謝金、材料費、予備費、その他の経費の精査

スキルを持つ非常勤スタッフによる講座の指導

6. 修繕費

職員による簡易修繕の対応、保守管理担当会社の施設巡回院による早期小規模修繕

優先すべき修繕と年度末までにする修繕等の実施調整

7. 光熱水費

適切な空調温度の設定と利用者への協力の呼びかけ、不要時・不要箇所の消灯

施設内照明器具の段階的なLED化による電気代削減と長寿命化

事業計画書様式2-5

4 2025年度の事業の実施について

- (ア) 自主事業の基本的な考え方
- (イ) 自主事業別計画（様式3、4に記載してください。）
- (ウ) その他の事業の実施

(ア) 自主事業の基本的な考え方

踊場地区の特性に合わせ、私たち横浜YMC Aの持つさまざまな事業活動スキルを最大限に活かすという視点で、初年度より積極的に自主事業を展開していきます。

目的：地域にさまざまな学び・体験の機会を提供することを目的に積極的に展開。コミュニティの輪の拡大、踊場地区・北沢地区尾の交流の拠点を目指して展開していきます。

独自性：戸塚区・泉区にあるYMC Aの拠点と連携することで、他の地区センターではできない、さまざまな体験の機会を地域に提供していきます。

（水泳体験、水中運動プログラム、乳幼児の身長体重測定会、保育園・こども園の選び方講座）

★プレイルームがリニューアルしたことに伴い、利用促進として子育て世代の利用が増える取り組みを

強化していきます。

・わくわく絵本ひろば、0歳児集まれ！など

★焼成窯のある地区センターとして、自主事業としての陶芸教室を充実させ、陶芸団体や陶芸初心者の

利用を促進していきます。

・夏休み子ども陶芸教室、夜の陶芸教室 など

自主事業別計画

2025年度に実施する主なものは別紙（様式3、4に記載）の通りです。

・様式3、4に記載した以外にも、利用者のニーズを調査しながら内容を変更したり
新たなどを追加するなど、積極的に展開していきます。

(エ) その他の事業の実施

・自主事業以外の事業に関しては、利用者の要望及び運営委員会からの要請により
適宜判断して実施していきます。

事業計画書様式2-6

5 2025年度の施設の運営体制等について

(ア) 職員の配置計画

(イ) 緊急時の連絡体制

(ア) 職員の配置計画

職務	氏名	有する資格等
館長	関口 努	児童発達管理責任者及びサービス管理責任者、甲種防火管理者、運動実践指導者、サッカーC級ライセンス・キッズリーダー、児童発達支援士
企画全般	中島 はるな	SCベビーマッサージセラピスト資格
事務全般	加藤 和男	中学・高校教員免許、甲種防火管理者、第二種衛生管理者

スタッフの氏名・役割・時間帯及び配置数等

その他 パートタイマー 14名以内

勤務時間は、シフト制によるローテーション

(イ) 緊急時の連絡体制

夜間・閉館時は機械警備とし、開館時は職員の施設巡回によって防犯に努めます。

緊急時の対応について

①関係諸機関への適格、迅速な連絡と報告

(戸塚区を含めたスタッフの連絡網一覧を作成)

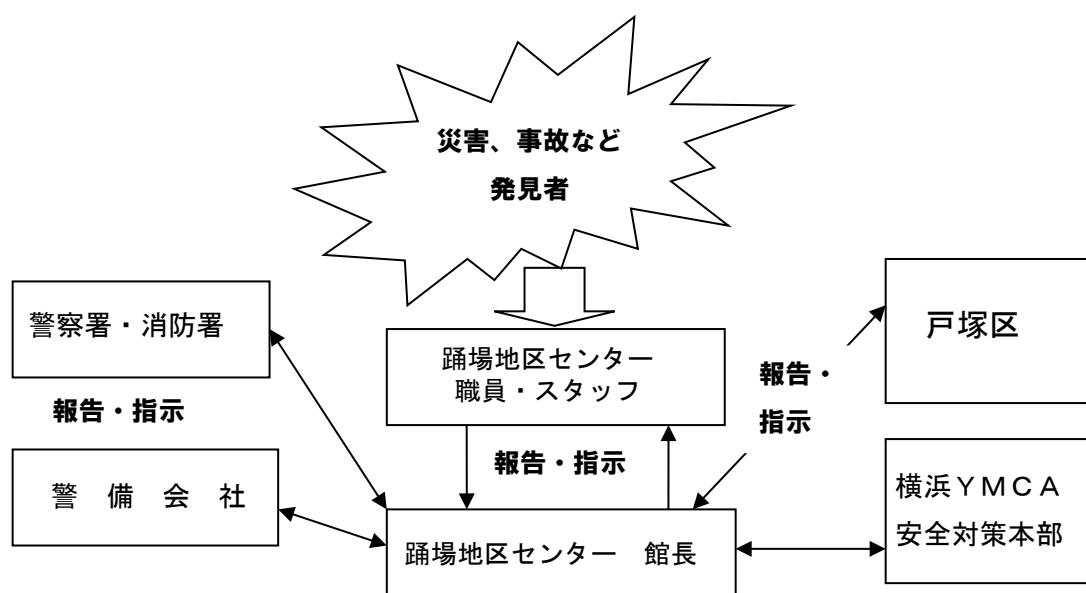
②感染症拡大防止については、横浜市および戸塚区の方針に従い、施設の利用方法やガイドラインを速やかに整備し、迅速にホームページ上に掲載するとともに、利用団体へ連絡をしていきます。

③迅速な初動対応 戸塚区、YMCA安全対策本部と緊密な連絡体制をとります。

④利用者の安全確保、誘導

④大規模災害発生時には、防災に関する協定に従い、戸塚区と連携を取り、円滑に対応していきます。

緊急時の連絡については下記の通りとなります。



横浜市踊場地区センター自主事業計画書－1

団体名 公益財団法人 横浜Y M C A

事業名	①募集対象	自 主 事 業 予 算 額				
	②募集人数	総経費	収入		支出	
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費
子育て支援① のびのび親子ひろば1～3歳児 (親子体操)	1～3歳児と保護者	104,000	5,000	99,000	99,000	5,000 0
	30組×11回					
	300					
子育て支援② リトミック親子ひろば1～3歳児 (親子音楽あそび)	1～3歳児と保護者	82,500	0	82,500	77,000	5,500 0
	25組×11回					
	300					
子育て支援③ イングリッシュ親子ひろば1～3歳児 (親子英語あそび)	1～3歳児と保護者	88,000	5,500	82,500	82,500	5,500 0
	25組×11回					
	300					
子育て支援④ 絵本の読み聞かせ会	一般	0	0	0	0	0 0
	20名×12回					
	無料					
子育て支援⑤ 乳児発育測定会 (身長体重測定会)	乳児と保護者	0	0	0	0	0 0
	20名×12回					
	無料					
子育て支援⑥ 0歳児集まれ！	乳児と保護者	0	0	0	0	0 0
	10組×4回					
	無料					
こども・青少年交流① キッズ&学生向け バドミントン講座	小学生	22,500	0	22,500	15,000	7,500 0
	15名×1回					
	1,500					
こども・青少年交流② キッズクラブ	小学生	60,000	0	60,000	20,000	40,000 0
	15名×10回					
	400					
こども・青少年交流③ サマーデイキャンプ	小学生	90,000	0	90,000	40,000	50,000 0
	15名×2回					
	3,000					
こども・青少年交流④ 子ども陶芸教室	小学生	24,000	0	24,000	12,000	12,000 0
	6名×1回					
	4,000					
こども・青少年交流⑤ キーホルダー作り	小学生	2,500	0	2,500	1,500	1,000 0
	10名×1回					
	250					
健康づくり① 朝のストレッチ体操	一般	0	0	0	0	0 0
	定員なし					
	無料					
合 計		473,500	10,500	463,000	347,000	126,500 0

事業ごとの事業内容等を様式4に記載してください。

横浜市踊場地区センター自主事業計画書－2

事業名	①募集対象	自 主 事 業 予 算 額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
健康づくり② シニアエクササイズ	一般	99,000	11,000	88,000	99,000	0	0
	20名×11回						
	400						
健康づくり③ 元オリンピック選手による バドミントン教室	一般	108,000	0	108,000	45,000	50,000	13,000
	18名×3回						
	2,000						
健康づくり④ 整うピラティス&リズム筋トレ	一般	135,000	0	135,000	72,000	63,000	0
	18名×12回						
	6回で3,750円						
健康づくり⑤ シングルス卓球大会	一般	16,000	0	16,000	10,000	6,000	0
	20名×1回						
	800						
健康づくり⑥ 水中ウォーク&ストレッチ	一般	60,000	0	60,000	54,000	6,000	0
	10名×6回						
	1,000						
生涯学習① 大人向け陶芸教室	一般	24,000	0	24,000	12,000	12,000	0
	6名×1回						
	4,000						
生涯学習② おとなの遠足	一般	36,000	0	36,000	0	18,000	18,000
	12名×2回						
	1,500						
生涯学習③ はじめての英会話	一般	90,000	0	90,000	90,000	0	0
	10名×12回						
	750						
生涯学習④ 歌のひろば	一般	108,000	0	108,000	90,000	18,000	0
	30名×12回						
	300						
生涯学習⑤ 季節のフラワーアレンジメント	一般	24,000	0	24,000	12,000	12,000	0
	8名×2回						
	1,500						
イベント① 地区センターまつり	一般	230,000	200,000	30,000	0	130,000	100,000
	1,200名						
イベント② サークルフェスタ (サークル発表会)	一般	18,000	0	18,000	0	9,000	9,000
	80名						
	1,000						
合 計		948,000	211,000	737,000	484,000	324,000	140,000

事業ごとの事業内容等を様式4に記載してください。

横浜市踊場地区センター自主事業別計画書（単表－1）

（様式4）

団体名 公益財団法人 横浜YMCA

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て支援① のびのび親子ひろば (親子体操)	<p>目的：次世代を担う子どもたちのために、幼い時代から家庭や地域での健康づくりや豊かな人間関係を育むための取組として行います。</p> <p>内容：親子で楽しく体育遊び、体操、リズム体操、器械遊びなどを行います。</p> <p>対象：1～3歳児とその保護者</p>	年11回開催 (8月を除く)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て支援② リトミック親子ランド (親子音楽あそび)	<p>目的：次世代を担う子どもたちのために、幼い時代から家庭や地域での健康づくりや豊かな人間関係を育むための取組として行います。</p> <p>内容：親子で楽しくリズム遊びをはじめ、歌・お遊戯・簡単な工作なども行います。</p> <p>対象：1～3歳児とその保護者</p>	年11回開催 (8月を除く)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て支援③ イングリッシュ親子 ひろば (親子英語あそび)	<p>目的：次世代を担う子どもたちのために、幼い時代から家庭や地域での健康づくりや豊かな人間関係を育むための取組として行います。</p> <p>内容：親子で楽しく歌やお遊戯、ゲームなどを通じて英語に触れてみます。外国人講師が指導します。</p> <p>対象：1～3歳児とその保護者</p>	年11回開催 (8月を除く)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て支援④ 絵本の読み聞かせ会	<p>目的：次世代を担う子どもたちのために、幼い時代から家庭や地域での健康づくりや豊かな人間関係を育むための取組として行います。</p> <p>内容：地域のボランティアが親子に向けて絵本の読み聞かせ・簡単な手遊びなどをします。</p> <p>対象：1歳～未就学児親子</p>	毎月開催

横浜市踊場地区センター自主事業別計画書（単表－2）

（様式4）

団体名 公益財団法人 横浜YMC A

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て支援⑤ 乳児発育測定会 (身長体重測定会)	<p>目的：次世代を担う子どもたちのために、幼い時代から家庭や地域での健康づくりや豊かな人間関係を育むための取組として行います。</p> <p>内容：乳児を対象に、近隣の保育園の保育士が簡単な身長・体重測定をし、母親同士の交流も図ります。</p> <p>対象：乳児とその保護者</p>	毎月開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て支援⑥ 0歳児集まれ！	<p>目的：次世代を担う子どもたちのために、幼い時代から家庭や地域での健康づくりや豊かな人間関係を育むための取組として行います。</p> <p>内容：0歳児の親子を対象に、普段プレイルームにないおもちゃ親子などで遊びます。ママ同士の交流も図ります。</p> <p>対象：0歳児親子</p>	年4回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
① こども・青少年交流 キッズ&学生向けバドミントン講座	<p>目的：さまざまな体験を通して、こども・青少年世代が交流し、新たな可能性の発見をする機会とします。</p> <p>内容：元オリンピック代表選手による講習会を開催し、初心者～経験者まで、楽しくわかりやすく指導します。</p> <p>対象：小学生～中学生</p>	年1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
② こども・青少年交流 キッズクラブ	<p>目的：さまざまな体験を通して、こども・青少年世代が交流し、新たな可能性の発見をする機会とします。</p> <p>内容：身近にある材料をつかって、ミサンガやモビール、飛び出すメッセージカードなど、ものづくりの体験の機会を提供します。</p> <p>対象：小学生</p>	年10回開催 (8・2月を除く)

横浜市踊場地区センター自主事業別計画書（単表－3）

（様式4）

団体名 公益財団法人 横浜YMCA

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
③ 子ども・青少年交流 サマーデイキャンプ	<p>目的：さまざまな体験を通して、子ども・青少年世代が交流し、新たな可能性の発見をする機会とします。</p> <p>内容：夏休みの2日間、スポーツ、クラフト、クッキング、福祉体験、文化体験などをし、社会性を身につけながら、子どもたちの興味と可能性を引き出します。</p> <p>対象：小学生</p>	夏休み期間に2日間

事業名	目的・内容	実施時期・回数
④ 子ども陶芸教室	<p>目的：さまざまな体験を通して、子ども・青少年世代が交流し、新たな可能性の発見をする機会とします。</p> <p>内容：夏休みの小学生を対象に行う陶芸教室で、講師が丁寧に指導します。お茶碗とカップなどを作ります。</p> <p>対象：小学生</p>	年1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑤ 子ども・青少年交流 キーホルダー作り	<p>目的：さまざまな体験を通して、子ども・青少年世代が交流し、新たな可能性の発見をする機会とします。</p> <p>内容：光に反射する素材の材料を使用して、自転車用のキーホルダーを作ります。</p> <p>対象：小学生</p>	年1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
① 健康づくり朝のストレッチ体操	<p>目的：高齢社会における介護予防、生活予防のための体力維持・増進を図ります。</p> <p>内容：地区センタースタッフによる運動習慣を身につけるためのストレッチワンポイントアドバイス。</p> <p>対象：一般</p>	<p>火・木・土曜日の朝、定期的に開催</p> <p>年150回程度開催</p>

横浜市踊場地区センター自主事業別計画書（単表－4）

（様式4）

団体名 公益財団法人 横浜YMC A

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康づくり② シニアエクササイズ	<p>目的：高齢社会における介護予防、生活予防のための体力維持・増進を図ります。</p> <p>内容：高齢社会に伴い認知症や軽度認知機能障害（MCI）が増加する現代に、脳と体の機能を効果的に向上させる体操や軽い運動を行います。また、健康づくりや仲間づくりのサポートを行います。</p> <p>対象：一般</p>	年11回開催 (8月を除く)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康づくり③ 元オリンピック選手によるバドミントン教室	<p>目的：バドミントン愛好家が多い戸塚での開催で、プロからの指導を受けることにより一層の技術の向上を目指します。</p> <p>内容：元オリンピック選手によるバドミントン教室。多くの指導実績のある講師より、直接指導が受けられる特別企画です。</p> <p>対象：一般</p>	年3回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康づくり④ 整うピラティス&リズム筋トレ	<p>目的：高齢社会における介護予防、生活予防のための体力維持・増進を図ります。</p> <p>内容：前半はマットを使いピラティスの動きで体を整え、後半は音楽に合わせて筋力アップのトレーニングを行います。</p> <p>対象：一般</p>	年12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康づくり⑤ シングルス卓球大会	<p>目的：高齢社会における介護予防、生活予防のための体力維持・増進を図ります。</p> <p>内容：初級者向けに男女混合のシングルスの卓球大会を行い、利用者および利用団体同士の交流機会とします。</p> <p>対象：一般</p>	年1回開催

横浜市踊場地区センター自主事業別計画書（単表－5）

（様式4）

団体名 公益財団法人 横浜YMCA

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康づくり⑥ 水中ウォーク&ストレッチ	<p>目的：高齢社会における介護予防、生活予防のための体力維持・増進を図ります。</p> <p>内容：送迎バスにてプール施設のある同法人拠点に移動し、日常生活で感じることのない浮力・水圧・抵抗を体で感じながら水の中で体を動かします。</p> <p>対象：一般</p>	年6回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
生涯学習① 大人向け陶芸教室	<p>目的：生活に活かしたいこと、趣味として楽しみたいこと、いきいきとしたライフスタイルを形成することを目的に開催します。</p> <p>内容：焼成窯がある地区センターの特徴を活かし、大人の方向けの陶芸教室を開催します。仕事終わりの方もご参加いただける時間に開催します。</p> <p>対象：一般</p>	年1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
生涯学習② おとなの遠足	<p>目的：生活に活かしたいこと、趣味として楽しみたいこと、いきいきとしたライフスタイルを形成することを目的に開催します。</p> <p>内容：主にシニア世代向けに工場見学や社会見学を実施し、生活上の新たな発見とする他、仲間づくりの機会にもつなげていきます。</p> <p>対象：一般</p>	年2回開催

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
生涯学習③ はじめての英会話	<p>目的：生活に活かしたいこと、趣味として楽しみたいこと、いきいきとしたライフスタイルを形成することを目的に開催します。</p> <p>内容：外国人講師から中学英語の程度の単語や文法力でできる簡単な日常会話を学んでいきます。</p> <p>対象：一般</p>	年12回開催

横浜市踊場地区センター自主事業別計画書（単表－6）

（様式4）

団体名 公益財団法人 横浜YMCA

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
生涯学習④ 歌のひろば	<p>目的：生活に活かしたいこと、趣味として楽しみたいこと、いきいきとしたライフスタイルを形成することを目的に開催します。</p> <p>内容：童謡や唱歌、子守歌、昭和の歌謡曲など、季節にあった懐かしい歌の数々を、ピアノの伴奏に合わせて皆で歌います。</p> <p>対象：一般</p>	年4回開催 季節ごとに1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
生涯学習⑤ 季節のフラワーアレンジメント	<p>目的：生活に活かしたいこと、趣味として楽しみたいこと、いきいきとしたライフスタイルを形成することを目的に開催します。</p> <p>内容：造花とリボンなどを使用して、その季節に合ったアレンジメントをつくります。</p> <p>対象：一般</p>	年2回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
イベント① 地区センター まつり	<p>目的：地区センターの利用者へのサービス、ご利用に対する感謝として年間を通してイベントを行い、来館者の活性化を図ります。</p> <p>内容：地区センター運営委員、近隣学校、地域の諸団体とともに行う地区センター最大の行事です。</p> <p>対象：一般</p>	年1回開催 (2月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
イベント② サークルフェスタ (サークル発表会)	<p>目的：地区センターの利用者へのサービス、ご利用に対する感謝として年間を通じてイベントを行い、来館者の活性化を図ります。</p> <p>内容：普段地区センターを利用していただいている利用団体による発表会を開催します。</p> <p>対象：一般</p>	年1回開催

令和7年度 「横浜市踊場地区センター」 収支予算書兼決算書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	39,679,000		39,679,000		39,679,000	横浜市より
利用料金収入	3,750,000		3,750,000		3,750,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	1,200,000		1,200,000		1,200,000	
自主事業収入	0		0		0	
雑入	900,000		900,000		900,000	
印刷代						
自動販売機手数料						
駐車場利用料収入						
その他（ ）						
収入合計	45,529,000	0	45,529,000	0	45,529,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	26,202,044	0	26,202,044	0	26,202,044	
給与・賃金	22,997,044		22,997,044		22,997,044	
社会保険料	2,100,000		2,100,000		2,100,000	
通勤手当	690,000		690,000		690,000	
健康診断費	95,000		95,000		95,000	
勤労者福祉共済掛金					0	
退職給付引当金繰入額	320,000		320,000		320,000	
事務費	2,540,014	0	2,540,014	0	2,540,014	
旅費	16,000		16,000		16,000	
消耗品費	396,000		396,000		396,000	
会議賄い費	39,000		39,000		39,000	
印刷製本費	100,000		100,000		100,000	
通信費	366,000		366,000		366,000	
使用料及び賃借料	1,297,000		1,297,000		1,297,000	
横浜市への支払分					0	
その他					0	
備品購入費	120,000		120,000		120,000	
図書購入費					0	
施設賠償責任保険	146,014		146,014		146,014	
職員等研修費					0	
振込手数料					0	
リース料					0	
手数料					0	
地域協力費	60,000		60,000		60,000	
事業費	740,000	0	740,000	0	740,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	740,000		740,000		740,000	
自主事業費	0		0		0	
管理費	11,802,942	0	11,802,942	0	11,802,942	
光熱水費	5,294,000		5,294,000		5,294,000	
電気料金	3,071,000		3,071,000		3,071,000	
ガス料金	1,906,000		1,906,000		1,906,000	
水道料金	317,000		317,000		317,000	
清掃費	2,535,500		2,535,500		2,535,500	
修繕費	726,000		726,000		726,000	
機械警備費	435,600		435,600		435,600	
	2,811,842		2,811,842		2,811,842	
空調衛生設備保守	99,000		99,000		99,000	
消防設備保守	165,000		165,000		165,000	
電気設備保守	396,000		396,000		396,000	
害虫駆除清掃保守	125,400		125,400		125,400	
駐車場設備保全費	0				0	
その他保全費	2,026,442		2,026,442		2,026,442	5,782,942
共益費			0		0	
公租公課	1,500,000	0	1,500,000	0	1,500,000	
事業所税			0		0	
消費税	1,500,000		1,500,000		1,500,000	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	
事務経費 （計算根拠を説明欄に記載）	1,500,000	0	1,500,000	0	1,500,000	
本部分	1,500,000		1,500,000		1,500,000	
当該施設分			0		0	
ニーズ対応費	1,244,000		1,244,000		1,244,000	
支出合計	45,529,000	0	45,529,000	0	45,529,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入		0
自主事業費支出		0
自主事業収支		0

管理許可・目的外使用許可収入		0
管理許可・目的外使用許可支出		0
管理許可・目的外使用許可支支		0

令和7年度 委託内容一覧

No.	委託期間	委 託 内 容	金 額 (円)税別	業 者 名	請負業者名
1	R7.4.1～R8.3.31	日常清掃業務	¥1,752,000	(有)ワイコーホーリー ^ン	(有)ワイコーホーリー ^ン
2	R7.4.1～R8.3.31	消防用設備・機器点検	¥150,000	(有)ワイコーホーリー ^ン	株市川総業
3	R7.4.1～R8.3.31	機械警備	¥396,000	(有)ワイコーホーリー ^ン	セコム(株)
4	R7.4.1～R8.3.31	電気工作物保安業務管理	¥360,000	(有)ワイコーホーリー ^ン	株市川総業
5	R7.4.1～R8.3.31	料理室設備保守業務 (グリストラップ・空調機フィルター・換気扇・厨房ダクト)	¥157,500	(有)ワイコーホーリー ^ン	株市川総業
6	R7.4.1～R8.3.31	空調機・排風機保守点検	¥90,000	(有)ワイコーホーリー ^ン	株市川総業
7	R7.4.1～R8.3.31	定期清掃 床面 (ビニール床シート・フローリング・タイルカーペット・磁器タイル)	¥301,500	(有)ワイコーホーリー ^ン	株市川総業
8	R7.4.1～R8.3.31	照明器具清掃	¥36,000	(有)ワイコーホーリー ^ン	株市川総業
9	R7.4.1～R8.3.31	窓ガラス清掃	¥160,000	(有)ワイコーホーリー ^ン	株市川総業
10	R7.4.1～R8.3.31	ドラムトラップ清掃	¥13,500	(有)ワイコーホーリー ^ン	株市川総業
11	R7.4.1～R8.3.31	外溝清掃(敷地内全部、排水溝部)	¥42,000	(有)ワイコーホーリー ^ン	株市川総業
12	R7.4.1～R8.3.31	害虫駆除	¥114,000	(有)ワイコーホーリー ^ン	株市川総業
13	R7.4.1～R8.3.31	エレベーター保守	¥306,000	(有)ワイコーホーリー ^ン	ジャパンエレベーターサービス神奈川(株)
14	R7.4.1～R8.3.31	自動ドア	¥90,000	(有)ワイコーホーリー ^ン	株神奈川ナブコ
15	R7.4.1～R8.3.31	設備総合巡視点検	¥360,000	(有)ワイコーホーリー ^ン	(有)ワイコーホーリー ^ン
16	R7.4.1～R8.3.31	レンタル マット・モップ	¥108,720	(有)ワイコーホーリー ^ン	株サニクリーン横須賀
17	R7.4.1～R8.3.31	植栽管理	¥820,000	(有)ワイコーホーリー ^ン	株きたむら園
18	R7.4.1～R8.3.31	施設賠償責任保険	¥132,740	(有)ワイコーホーリー ^ン	(有)ワイコーホーリー ^ン

目標設定・自己評価合体版

令和7年度 踊場地区センター自己評価表

目標設定の視点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標に対する実績	今後の取組(改善計画)	自己評価
管理・運営	<ul style="list-style-type: none"> 運営2年目として、施設利用の公平性の観点からも利用料金については事前入金をお願いしていく。一方で高齢者が酷暑などで入金が難しい場合などは柔軟に対応していく。 地区センターの広報手段としてインスタグラムを活用し、施設空き情報や施設の取組み、自主事業やイベントの報告などを積極的に行っていく。 			
利用者サービス	<p>地域特性、地域ニーズに沿った事業展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 踊場地区連合町内会と汲沢地域ケアプラザと連携し、「高齢者とやさしくふれあう活動」や防犯・防災に関する取組みを協力しながら展開していく。 踊場地区の社会福祉協議会と連携し、「おどりば文化まつり」や「ふれあい午後サロン」の取組みに協力し、助け合いのコミュニティにつながる取組みを行っていく。 地域から特別な要望がある場合には、時間外でも施設を開放する。（地域行事や地震・風水害などの災害時） <p>利用者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての来館者に対して積極的にスタッフから挨拶し、ホスピタリティマインドを重視する。 泉区のプールのあるYMCA山手台センターと協力して、送迎バスを活用した「水中ウォーク&ストレッチ」を自主事業として実施し、他の地区センターにはない事業として特徴づける。 利用団体へのメール配信を案内し、施設利用における情報やお知らせなどを定期的に発信していく。 若い世代の利用者（特に中学生や高校生など）に向けて、夏休み期間や地区センターまつりでのボランティアとして活動の機会を提供していく。 			

	<ul style="list-style-type: none"> ・インスタグラムを活用し、自主事業やイベントの実施報告および施設の空室情報や地区センターの取組みなども積極的にお知らせとして発信していく。 ・地域の就労支援施設等と連携し、利用者ニーズに応えてパン販売を毎週実施し、さらに不定期にコーヒー販売も行い、飲食のサービス機会を利用者に提供する。 		
業務運営	<p>緊急時の体制と対応計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時及び災害時のマニュアルに基づき、迅速かつ適切な初動対応ができるよう 研修を年に2回を行う。 ・火災、地震を想定した避難訓練を年に2回実施する。 ・地域の諸団体とともに防災訓練や、防災ワークショップなどを開催する。 <p>運営内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「したい何かが見つかる」「誰かとつながる」「自分がよくなる」の3つのスローガンに基づいた施設運営をしていく。 ・SDGsについての情報を地域や利用者に発信しながら、環境に配慮した施設運営を行っていく。 <p>施設利用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費の高騰に伴い、エアコンの設定温度、間引き照明、利用のない共用部分の消灯など、継続して利用者へ説明し、理解を求めていく。 ・感染症を考慮し、施設利用時の留意点などに変更がある場合は、速やかに利用者に告知する。また特に冬場においては、状況に応じて、施設利用終了時の消毒や、自主事業やイベントなどでの十分な感染対策などは継続していく。 ・HPでの新刊図書紹介、特集コーナーの設置や読書推進月間での取組みなど図書コーナーを充実させ、読書活動を推進していくほか、図書の総貸出数も増やしていく。 <p>横浜市重要施策に対する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸塚区総務課と連携し、災害時の施設運営の体制を整備し、 		

<p>地域とともに災害時の備えに取り組んでいく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の施設運営に関する研修内容について、基本的な災害時の運営マニュアルなどを整える。また研修内容については、実践的な内容となるように工夫していく。 ・子育て支援の一環として、横浜市の施策と合わせた「こども一時預かりプログラム」を横浜市こども青年局と協力して実施する。 ・Y M C A 保育園山手台アルクと連携した「乳幼児発育測定会」や保育士による「保育園・こども園の選び方講座」なども実施し、地区センターとして子育て支援に取り組んでいく。 <p>自主事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストレッチやピラティス、シニアエクササイズや水中ウォーキングなど運動系プログラムを充実させて、健康まちづくりに取り組んでいく。 ・元オリンピック選手による「バドミントン教室」「卓球大会」など技能向上につながる機会を提供する。 ・午前の娯楽コーナーを利用し、ものづくりなどの内容で申込み不要なサロン的な催し「踊場サロン」を開催し、地域住民同士の交流につなげていく。 ・シニア層の交流を目的とした自主事業を実施し、仲間づくり、居場所づくりの機会としていく。 ・舞岡地区センターと連携し、卓球やバドミントンなどの交流試合を開催し、利用者同士の交流を図る。 ・夏休み期間については、サマーデイキャンプなど特に小学生を対象にした講座や取組みを増やし、小学生の利用増を目指す。 ・指定管理者である横浜Y M C A主催の講演や取組みなども合わせて地域に情報発信し、広く地域からの参加を募る。 <p>地域および若い世代の利用者との関係づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな地域の諸団体と連携した取組みを行なう。 		
--	--	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業やイベントなどにおいて、地域の高齢者や若い世代の利用者からもボランティアを募り、地区センターの活動に取り込む。 ・地域の中で不登校や社会と接点を持つことに課題のある子どもや若者へ、地区センターでの職業体験や社会体験の機会を提供する。 			
職員育成	<p>スタッフ研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ研修として、8月と2月を除いた毎月の休館日に研修を年10回行う。 ・スタッフ研修の中に、地域理解やホスピタリティ、障がい者理解など、外部講師によるこれまでにない内容を盛り込む。 ・研修内容に応じて、舞岡地区センターと合同のスタッフ研修を実施し、職員同士の親睦・交流を図る。 ・スタッフの中に、自主企画委員会、健康づくり委員会、美化委員会等を組織し、施設運営に対しての高い意識を維持する。 ・イベント、行事開催後に、振り返りを必ず行い、次回に活かしていく提案をまとめる。 ・適切な役割分担、大きなイベントでの連携・協力体制を整え、スタッフの働くことの満足度を高める。 ・登録団体の情報を年度毎の更新とし、保有する団体の情報については常に最新のものとすることを継続していく。 			
財務	<p>施設の維持管理計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日の中での定期的な施設巡回による、不必要的電気・空調を徹底してチェックし、節電や省エネを強化する。 ・定期巡回により、施設の破損、修繕などを早期に発見し、対処する。 ・環境への配慮、経費削減を考慮し、再生可能な自然エネルギーの電力を継続して利用する。 ・長寿命化工事となる事案が発生する場合には、戸塚区と協議しながらすすめていく。 			

<p>収支計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Web 受付の活用や、当日の空き室利用の情報発信、開催可能な自主事業の案内を強化し、利用者の増加につなげていく。 ・効率的な人員体制とシフト体制により、人件費を抑える。 ・消耗品の発注、イベントの経費など発注や企画段階より、支出の精査をし、経費削減を徹底する。 ・利用者会議等で利用者へ節電の取組みの協力を呼びかけ、光熱水費の削減につながる取組みをしていく。 ・常に経費や支出を見直し、必要なものにより経費を充てるとのできるよう意識を改革していく。 ・備品の再活用などにより、経費を削減する。 ・修繕については、優先させるものと、次年度にまわせるものなどの見極めをした上で、行っていく。 <p>ニーズ対応費の使途</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の声を施設運営に反映するために必要となる備品購入のための費用 ・利用者の安全・利便性を意図した備品及びそのための開発等にかかる費用 ・利用者の利便性向上につながる修繕や修理なども、予算執行状況を考慮しながら場合によってニーズ対応費にて対応していく。 ・日曜・祝日の延長開館時間分のパートスタッフ人件費の1年間分の総額 		
<p>その他 (上記4つの視点以外の項目があれば追記)</p>		

利用者等 の意見		
-------------	--	--

『自己評価』

- A : 計画、目標を上回って実施
- B : 計画、目標を保持して実施
- C : 計画、目標を下回って実施

※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組（改善計画）欄に意見等に対する対応を記載